

横須賀・三浦 放射線技師会報

主な記事

巻頭言「バーチャル」 服部祐治
 特集「医師とのコミュニケーション
 の在り方」
 投稿「恐るべしタイ人」 畠山徹
 第2回釣り大会結果報告
 施設紹介「衣笠病院」
 「横須賀市救急医療センター」
 放射線科医紹介「衣笠病院」



No.80

Vol-25-No.2 12.Nov.2001

発行・横須賀三浦放射線技師会広報

巻頭言

バーチャル



副会長 服部祐治

バーチャル(Virtual)とは事実上とか実際上と訳され、コンピューターなどで使用されている用語であり、特にコンピューターゲームで、あたかも実体験をしているがごとく体験出来るいわゆる仮想の世界である。飛行機の操縦訓練や車の操縦訓練などに応用され、最近では会議なども自宅にいながら、あたかも本人が参加しているがごとくテレビモニターに映し出され、討論や質問などが行われバーチャルの世界を形作っている。

近年、子供たちがバーチャルの世界に入りこみ、一人でコンピューター相手に夢中になり、現実と仮想の世界が混同し、色々な弊害が出てきているとの報告もされている。いま子供たちはパソコンや携帯電話を持ち、家族とのコミュニケーションよりも、友達同士でiメールや電子メールなど行い、その高額な使用料が親の銀行口座から自動引き落としで支払いされるため、問題が発生してからようやく親が気付くような事態が発生している。

たいていの方はトランプカードを知っていると思われるが、52枚のカードとジョーカー1枚の合計53枚の枚数が決められた一説として、52枚の数は1年間の週を表し、すなわち365日を1週間の7日で割ると52となる。それぞれの札の模様は春夏秋冬の四季を表し、1からキングまで13の数を加えていくと91となり、4つの四季を合計すると364(91×4)であり、それにジョーカーの1加えると365となり、1年の365日となるそうである。太陽、月、星などと古くから行われているゲームは、自然の中から工夫し編み出され続けてきたものが多いようである。バーチャルな世界でなく、人が集まり顔と顔を合せながら子供を育てて行きたいものである。他人の子供に注意をする事、叱る事、ほめる事、勇気と愛情を持って行動して行きたいものである

最後に、せすじが寒くなるようなバーチャルの世界を、ちょっとだけ覗いて見ましょう。結婚式場のひな壇に、新郎新婦が並んでテレビモニターに映っており、その両側のテレビモニターに仲人の方が映り、二方の生い立ちなどの紹介をしている。そして披露宴に招かれた方々のモニターがひな壇を向いて並んでいる。紹介やら祝辞などはそれぞれの方々が、自宅からテレビ電話やインターネットに接続し、そして披露宴会場では音声スピーカーから流れている……

一期一会、せめて私達の研究会や新年会、総会は互いの顔を見て話したいものです。

特集「医師とのコミュニケーションの在り方」

～遊びのある仕事・・ゆとりのある仕事を～

横須賀共済病院

堀 裕明

自分で言うのも何だが、私は他の人とコミュニケーションを取るのが非常に旨い方であると自惚れている。しかしそのやり方は、「不真面目だ」と受け入れられないのではと不安も持っている。まあそこは、技師歴5年のペーペーの考えと御容赦願いたい。そもそも私的には「医師」に限った事ではなく、「看護婦」や「事務」ひいてはその他の職種に於いても言える事である。こう言うと、「職種によってコミュニケーションの取り方も違うのでは？」と思う方もいるであろう。しかしそれは仕事の為に仕事の話でコミュニケーションを取ろうとしているのではないだろうか？それは結局その場限りのコミュニケーションにとどまると考えている。ではどうすれば良いのか？答えは簡単。やはり最初は遊びの話以外コミュニケーションを取る手段は無いのである。

ここでN医師と私との関係を述べたいと思う。N医師とは歳は離れど同期の仲である。お互いに新人の頃はなかなかコミュニケーションが取れず、ただ覚えたての仕事にある意味機械的にこなす毎日だった。そんなN医師との関係に終止符を打ったのは、患者の入れ替えのちょっとした時間。詳しい話は省くが、このN医師は無類のギャンブル好き！特にスロットが大好きな人である。かく言う私も度々上司に「技師の仕事は副業で、スロットが本業」と冗談（それとも・・・本気？）を言われる程好きである。これがきっかけで仕事の合間を見つけてはスロットの会話をし、仕事が終われば共にスロットへ、そして勝った方がおごりで呑みに行っている（もちろん会話もギャンブルオンリー。仕事の話は毛ほども無い）。だがこれ以降は仕事も非常にスムーズに進んでいる。お互いに（特に私からだが）仕事の質問をしたり相談をしたりと、良い方向で仕事でのコミュニケーションが取れている。

「結局趣味が合うか合わないか」とお思いでしょう。けれど私はその他に、昨日見たTVの話やゲーム、ひいては上司のモノマネ（笑）など、その場のちょっとしたくだらない事から様々な人たちとコミュニケーションを取っている。とにかく遊びの話であれば何でも良いと考えています。

急がば回れと言う言葉があるが、それが最終的に仕事の中で深いコミュニケーションが取れる事に繋がると思う。今回の原稿のサブタイトルのように、私はこれからも仕事の合間に遊びの話が出来るような、心にゆとりのある仕事が出来ると期待している。

特集「医師とのコミュニケーションの在り方」

各科との勉強会

横須賀市立市民病院

小林 誠

私たちの放射線技術科では、今年の5月より各科のドクターとの勉強会を始めるようになりました。以前より放射線科のドクターにはCT画像等の読影のポイント等の講演を定期的をお願いしてきましたが、昔に比べ検査内容が多種多様になり、関係する診療科も増え、連絡ミスやトラブルなどが増加しました。これは各科とのコミュニケーションが取れていない事によるものと思います。『開催しても参加してくれるか?』『わがままの言い合いになるのでは?』心配ではありましたが、勉強会と懇親会を行い各科との意志疎通をはかることにしました

第一回は、以前からCT画像などで読影のポイントなどを講演していただいていた放射線科の望月先生をお願いしCT及びMRIの基本的な撮影の仕方を講演していただき、その後懇親会にくり出しました。放射線医師の求める画像について少し理解できたかな?

第二回目は、脳外科の先生をお願いして、脳外科の立場からのCT及びMRIの読影のポイントと撮影についての要望など講演していただき、その後に懇親会を林の口・タリにある北浜寿司で行い、脳外科の先生達と夜遅くまで盛り上がりました。超早期の脳梗塞対応を救急で取り組みたい?等の意見も出て(チョット参ったな?)でも、2回目まではうまく行くと思っていた。(主催者弁)

第三回目は、放射線技術科と犬猿の仲(一部の人)であります循環器科をお願いいたしました。内容は大動脈解離及び肺梗塞のCTの取り方及びPTCAの症例などの講演を行い、第二回と同様の北浜寿司で懇親会を行いました。わがまま放題の科で誰も参加しないのでは?と心配しましたが、なかなか真面目に取り組む良い医師ではないですか?(この新人まだ人を見る目がない)等の意見もありまあ成功かな?懇親会では、双方の意見を言い合い、和気あいあいと懇談いたしました。(喧嘩にはなりませんでしたが)少しは技師との溝が埋ったと思います。

(私たちも大人だから?程ほどにね?)

これからも、宿敵は多いけど、難攻不落な他の診療科との勉強会、懇親会を行い、技師の技術向上と各科とのコミュニケーションをとっていきたいと思います。

同じ検査をするのでも気持ちよくやれることが大事だヨナア 合掌



寄稿・投稿

恐るべしタイ人

横須賀市立市民病院
畠山 徹

耳をつんざくほどの声が両コーナーから叫ばれている。

リングサイド3列目の席。

私が今いる場所だ。

休暇を取りタイにやってきた。

勿論ムエタイを見るために。

この日は全部で12試合ありメインは10試合目からの3試合だった。

あとで聞いた話だが選手に対する声援やら怒声が激しいのは賭けの対象となっているかららしかった。

この日一番の試合はセミファイナルの11試合目だろう。

それまではタイ人同士ばかりだった。

しかし今度青コーナーに居る選手はおそらく招待選手なのであろう。

今まで居なかったカメラマンがどこからともなく出てきていた。

これまで同様、試合前の儀式であろう踊りを終えいよいよ試合が始まった。

この青コーナーの選手はDANGという名だった。

1ラウンド、DANGのパンチがよく当たる。

パンチの多様さフットワークなどからするとボクサーからの転身なのであろうか。

タイ人選手も時折ハイキックで応戦するのだがDANGの早い動きについていけず明らかに苦戦しているようだった。

このラウンドは誰の目から見てもDANG優位であった。

というより次のラウンドにも決着が着くのでは？という感じがしていた。

確かに2ラウンド目に試合はおわった。

ただし勝者はタイ人だった。

このラウンドもDANG優勢であったのだが・・・

タイ人が首を取った瞬間体をずらしての膝蹴り2発！！

アッという間の出来事であった。

恐るべしタイ人である。



日本に帰ってきた今日もまたタイにいこうと思わせる試合でした。

ん～ムエタイはいいっすよ(^o^)

寄稿・投稿

釣り大会釣果報告

コニカメディカル株式会社

宮澤 智也

第二回横須賀・三浦放射線技師会釣り大会釣果報告

釣をやったのが久しぶりでしかも初の船釣、まともに釣が出来るのか、船酔いしないか心配しながら乗船する。しかし、天気もよく波もほとんど無かったので快適に出航。

久里浜の火力発電所の沖あたりで、えさのあさりのつけ方や魚の誘い方などを教わり、つりを始める。

当初は皆さん、ベラやフグなど雑魚ばかりでしたが、30分ぐらいからカワハギもかかり始め、午前中はいいペースでカワハギ、キスなど釣りつけました。しかし、午後に入るとペースダウンしてしまい、最後に少し盛り返すが全体的な釣果は伸びずじまいでした。

そんななかでわたしがまさか優勝してしまうとは思いませんでした、まあカワハギ5匹の同数で保健所の大寺さんと井上さんとジャンケンをしての僅差の優勝でしたが。

よい天気の中で、釣が出来、昼から船の上でお酒を飲み、カワハギのにぎり寿司をいただき、そのう優勝商品と釣った魚まで持って帰れ大変楽しい1日でした。

ちなみに、カワハギは行きつけの店で胆和えと薄作りにしてもらい日本酒とともにおいしくいただきました。

ビギナーズラックがいつまで続くか解りませんがまた次回もがんばろうと思います。



- 施設紹介 -

衣笠病院

神田真世

「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。」

マタイによる福音書 25章40節

衣笠病院は、昭和22年(1947年)キリスト教精神のもとに診療を開始しました。火災で施設大半を焼失したこともありましたが、特養ホーム・健康管理センター・老人保健施設・訪問看護ステーション・ホスピスを併設して、現在、横須賀市の中核病院として地域に貢献しています。

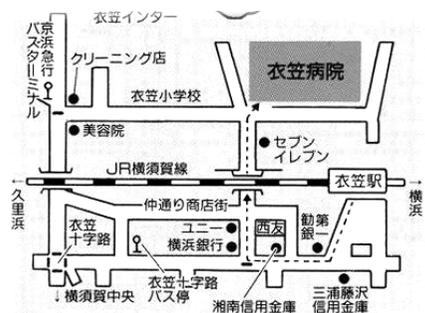
ホスピスを含め299床で、約400名の職員がいます。我放射線科のスタッフは、常勤医1名、非常勤医2名、技師9名、看護婦1名、受付ファイル2名、受付パート1名です。皆さんご存知とは思いますが、この半年で衣笠は大変身をとげました。オールデジタル化がかない、CR・DRはもとよりPACSまではいってしまったのです。

CTはW2000AD(この子はうちに来てもう10年になります。入った当時はこのあたりで初めての螺旋CTとあんなにもはやされていたのに、今ではPACSのお荷物とよばれ・・・)MRIはSIGNA MR/i High speed(この子はこの12月で丸2年になり、画像はいいんですけど・・・)DRはPrius-Cad(今年5月から稼働しています。なかなかの暴れん坊だったりして・・・)CRは言わずとも知れたFCR3500とFCR5501Dが2台ずつ今年3月にはいりました。マンモはなぜかLORAD M-が2台あるんです(うち1台は健康管理センターに)。健康管理センターには残念ながらまだデジタル化はなされてないのですが、X線TV2台と胸部X線装置があります。病院内の画像は検査科管理のUSを含めてすべて科内PACSで管理・読影できるようになりました。このあたりは、11月の研究会でうちの若い衆が詳しく発表してくれると思います。請うご期待!! ゆくゆくはフィルムレス&ペーパーレスなんですよ。



衣笠病院ホームページ

<http://www.kinugasa.or.jp/index.htm>



- JR横須賀線「衣笠駅」より徒歩約5分
- 東京駅から1時間20分
- 京浜急行「横須賀中央駅」よりバス約15分「衣笠十字路」下車、徒歩約5分
- 横浜・横須賀道路「衣笠インターチェンジ」より車で約10分

- 施設紹介 -

横須賀市救急医療センターの紹介

救急センター担当理事
三堀光雄

昭和59年4月1日より横須賀市救急医療センターに11名の技師が非常勤勤務したのが始まりです。

当時横須賀市保健所を定年退職された手塚先生を軸にそれぞれの技師は月に3回程度の勤務に当たっていました。

センター設立時より内科、外科、小児科の3科があり、X線撮影室、X線発生装置、暗室、自動現像機等撮影に係わるすべての機器は完備され、使用可能な状態にあり、X線写真が必要なときは医師自らが撮影していたようです。

医師は医師会から派遣されていましたが、看護婦、事務、受付業務は市が個人採用で業務を遂行していました。

放射線技師がセンター業務に参加することに対し、技師会内においてもいろいろな意見がありましたが、検討の末センター業務に協力される技師を募ったところ11名の方に協力していただくことになりました。

募集に応じた技師は、当初横須賀市と個人契約のものと非常勤勤務という形でスタートしたので、看護婦、事務、受付等と同じ待遇で進行しました。

2年後の昭和61年4月1日【横須賀三浦放射線技師会長】と【横須賀市長】との間に委託契約を結び、現在に至っている次第です。

1年365日毎日稼働している救急センターに、いっとき技師がわずか7人でやらなければならない事態になったこともありました。

参加時当初からの技師各自の理解と協力があり何とか切りぬけることが出来たが、会長はじめ理事役員の方々の努力と積極的なアプローチがあって、横須賀共済病院はじめ、横須賀北部共済病院、横浜南共済病

院の先生方にご協力いただくことができ、技師の人数も少しずつ増え現在22名で放射線業務を行っています。

平成10年には横須賀三浦放射線技師会創立50周年を迎え、前救急センター担当理事の横山英彦氏が、永年にわたる横須賀市救急医療センター事業の多大な功績に対し、沢田横須賀市長より感謝状を授与されました。

現在、ブッキーテーブルは昇降式になり、リーダー撮影台もオート60、自動現像機はコダック5000RA、ファンテクサー（小児撮影機）の新規導入など当初無かった新しい機器も揃える事ができ、広範囲の撮影が可能になってきました。

・・・(将来はCR装置の購入を希望しています)・・・

ここ数年、年末年始、及び5月の連休は患者の数も右肩上がりに増えていく傾向にあり、センター業務も益々多忙になりました。

昼は病院の撮影業務、そして夜間・休日は救急センターに勤務し、また、平成9年の年末からは【年末年始24時間の3交代制】の深夜帯に放射線技師もはじめて参入することになり、市民へ大きな貢献の一翼を担っているのが現状です。

毎日の勤務時間は

日曜、祭日のA番がAM7:30～PM4:00

B番がPM4:00～PM12:00

土曜日 PM4:30～PM12:00

平日 PM7:30～PM12:00

年末年始 12月29日から翌年1月3日は24時間体制の3交代で勤務をしています。

放射線科医紹介

衣笠病院放射線科主任医長・宮坂実木子先生を紹介します。

平成 5 年 聖マリアンナ医科大学卒業

平成 5 年 同大学放射線医学教室入局

平成 1 0 年 放射線科専門医及び学位取得

平成 1 0 年 聖マリアンナ医大放射線医学教室助手

平成 13 年 7 月より衣笠病院放射線科常勤医として勤務されています。

専門は小児放射線ですが、I V R もバリバリにこなしています。

さすが野坂先生の愛弟子です。

この間の、横三らせんCT研究会で御覧になったと思いますが、
小柄でかわいらしい方です。

P A C S も先生に軌道に乗せていただいて、最近の衣笠はオオ！ってな感じです。



(M ・ K 筆)

横須賀三浦放射線技師会

第 8 9 回研究会

のお知らせ

日 時：平成 1 3 年 1 1 月 1 7 日 (土) 1 5 : 0 0 ~

会 場：衣笠病院本館 2 階管理棟講堂

演 題：

- 1 . 「最新 M R I 動向」 フィリップス (演者未定)
- 2 . 「 D R について」 日立 (演者未定)
- 3 . 「えっ！衣笠に P A C S が？！」 大島俊直 (衣笠病院)
- 4 . 「患者の苦痛を緩和するための放射線治療補助具の工夫」
二田 勇 (横須賀共済病院)

なお、開始の 1 5 : 0 0 から 2 0 分程度の目安で、衣笠病院
の施設見学を行い、それからプログラムに入る予定です。 M
R I 、 D R 、 P A C S と結構いいものが揃っています。

被ばく医療対策委員会報告

平成13年10月19日

被ばく医療検討会

平成13年7月3日 (火) 午後7時30分
横須賀市医師会館
9月9日開催の「神奈川・よこすかフォーラム」
の開催の準備と手順についての打合せ
原子力安全研究会協会(原安協)よりプログラ
ムの送付あり
フォーラム参加者の申込書配布 昼食の準備

平成13年8月6日 (火) 午後7時30分
横須賀市医師会館
「神奈川・よこすかフォーラム」の申し込み状況
については現在118名の申し込み
200名の募集予定なので各関係機関へ参加者の
追加募集を行う
平成13年10月25日に行う県・市合同原子力防
災訓練の実施についての説明
防災関係機関と地域住民との原子力災害におけ
る地域防災活動の基礎的事項の習熟
医師会及び当技師会に対して協力の依頼があっ
た

平成13年9月9日 (日) 午後10時00分
ヴェルクよこすかにてフォーラム開催 参加者
約130名
9月11日(火)付けの神奈川新聞によこすかフ
ォーラムの開催記事掲載

平成13年9月13日 (火) 午後7時30分
横須賀市医師会館
「神奈川・よこすかフォーラム」の報告
10月25日試行予定の原子力防災訓練のチーム
派遣要請があった

平成13年10月12日(火) 午後7時30分
横須賀市医師会館
「神奈川・よこすかフォーラム」のモジュールB
開催の検討
12月16日ヴェルクよこすかにて開催予定 原
安協と検討中
原子力防災訓練の実施計画案の配布及びチーム
参加者名簿配布
当技師会よりの参加者は宮村、沼田、大石の3
名が参加予定

広報担当のちよつとご報告...

・永年勤続表彰30年!

中井 武美 元副会長

・結婚! 保健福祉部 大寺聡

さん

以上おめでとうございます!

ご祝儀は年内受け付けています

平成 13 年度
第 3 回理事会報告

庶務

日時 平成 13 年 10 月 19 日

場所 横須賀共済病院会議室

庶務報告 二田理事

会計報告 坂詰理事

学術報告 濱田理事

平成 11 月 17 日（土曜日）第 89 回研究会
衣笠病院にて開催

平成 14 年 1 月 19 日 第 13 回合同勉強会
横須賀共済病院にて開催

広報報告 柳沢理事

会報第 80 号の予定確認

福利報告 斎藤理事

ゴルフ大会 5 組 20 名にて開催

優勝者 横須賀共済病院 松田氏

3 部合同の納涼会 46 名参加

つり大会 10 月 21 日開催

ボーリング大会開催予定

Y M B I T 報告 高久理事

平成 13 年 10 月 19 日現在のアクセス件数
2 8 6 0 件

報告はメールか F D でお願いします

地区委員報告 宮村理事（資料参照）

救急センター報告 松井理事

継続平成 13 年度要求品目の結果報告

- 1) ファンテクサー 8 月 23 日納品
- 2) X 線撮影装置保守契約確認済み
- 3) 自動現像機保守契約確認済み

平成 14 年度予算要求

- 1) C R 装置
- 2) デキピタスカセットホルダー

3) プロテクター

4) 天井走行の移動範囲を長くしてほしい

5) 年末年始の勤務体制を 2 人体制に

以上の件 9 月 19 日総務課に予算申請書を提出
しました

その他)

永年救急センターに勤務されました横山先生
が 10 月の勤務を最後に辞めることになりました

被ばく医療災害検討会報告 服部副会長

その他) 新倉会長より

川崎市放射線技師会創立 50 周年式典の招待が
ありました

学術担当理事後任に三浦市立病院の加藤静氏
にお願いしました

継続審議

M R I 勉強会について

庶務報告

7 月 1 7 日第 7 9 号会報を会員、賛助会員、
県会長宛に送付

7 月 2 5 日横浜市南部技師会、勉強会・納涼
会案内会員に送付
(会場横浜市済生会南部病院)

8 月 1 日横三技理事委嘱 2 6 号を三浦市立
病院加藤静氏学術担当お願いの委嘱状を届
けた

8 月 4 日横浜南部地区勉強会・納涼会に清
酒 2 本届けた

8 月 2 3 日第 2 回救急センター会議横須賀共
済病院会議室にて 18 : 30 より開催

8 月 2 5 日湘南病院三堀光雄氏実父の訃報連
絡と弔電を打った

- 8月27日地区委員宮村氏（市民病院）に三堀光雄氏実父訃報連絡と住所、氏名を FAXにて送付（県技師会規定より）
- 9月10日 2002年度横須賀市救急医療センター予算申請書を会長名で横須賀市長宛に提出
- 9月11日第3回理事会案内を理事宛に送付
- 9月13日結核予防協会神奈川支部渡辺亨夫氏長期療養見舞金を規定通り給付
- 9月18日福利厚生主催第2回釣り大会案内会員、賛助会員に送付、
日時は10月21日（日） 集合7：00
京急久里浜駅改札口、出船8：00
- 10月5日三役会を衣笠病院会議室にて開催
会長、千葉副会長、服部副会長、羽布津、近藤、二田庶務出席
- 10月11日会長宛に、川崎市放射線技師会創立50周年式典の案内が届いた
- 10月19日横須賀共済病院会議室にて第3回理事会開催

地区委員会報告

宮村聖也

【審議事項】

平成13年9月13日県技師会504号

1. 会長報告

1) 参議院議員選挙の結果について

本会が推薦した候補小林ゆたか氏および横浜市議会補欠選挙ともに当選した。

今回の選挙結果より、医療現場における構造改革がなされるであろう。

2) 県技講習会について

講師の選択が良く素晴らしい話を聞く

事が出来た。

3) 県衛生部長の交代について

滝沢氏から鶴田憲一氏に交代した。

4) その他

日放技技師賠償保険がスタートした。

9/6現在で1000名位の入会。

2. 各委員報告

2-1 総務委員会

新入会員10名、再入会2名、退会1名、
8/23現在1529名

新入会員9名、転出会員1名、転入会員5名、9/27現在1542名

2-2 財務

会費納入期限は9月30日です。

会費納入者1082名、72.5%

（前年同月 978名、65.5%）

新入会員数 67名、（前年同月37名）

退会者 19名、（前年同月17名）

2-3 渉外

健やか神奈川一万人ウォーク担当地区を、横浜西部地区にお願いした。

2-4 編集委員会

会誌174号について、発行9月25日

（火）原稿締め切り8月23日

2-5 保健委員会

全国野球大会参加者の障害保険加入手続きを完了した。

救急センターより、自動現像機について横浜市へ予算申請がなされた。

2-6 厚生・社会福祉委員会

13年度諸調査の回収について協力を。

施設調査39% 健康調査17.5%

会員支援保険については、今年度継続とする。

2-7 その他

賛助会員「鳥居薬品(株)」の退会について

【審議事項】

- 3-1 南関東地域放射線技師学術大会の反省
- 3-2 医療放射線安全管理研究会
9月15日(土)午前11より横浜国際ホテルにて、草間先生講演会
参加者約100名
- 3-3 神奈川県医療専門職連合会慈善講演会
9月22日(土)午後1時より情文ホールにて
- 3-4 平成13年全国学術大会
岡山倉敷にて 事前登録は8月31日まで。
- 3-5 全国野球大会
9月22日(土)日本鋼管グラウンドで練習を行う。
- 3-6 神奈川県健康一万人ウォーク
11月3日(土)パシフィコ横浜にて開催。
- 3-7 神奈川県病院学会
「21世紀の医療と病院の役割」
11月9日(金)
- 3-8 神奈川県公衆衛生学会
「健康の危機管理」 11月14日(水)
県総合医療センター
- 3-9 資質向上研修会
平成14年2月23日(土)茅ヶ崎市民文化会館 13:30~17:00
会費3000円 80名
- 3-10 平成14年南関東学術大会「千葉」
演者の推薦依頼がきている。

3-11 今後の予定について

賀詞交歓会

平成14年1月17日(木)

横浜ガーデンホテル

予算総会

平成14年3月8日(金)場所未定

9月理事会報告

【学術】

第2回県技術講習会(9/16)

受講者 午前224名、午後236名

胸部X線画像評価研修会

横浜北部地区技師会の協力のもと

鶴見歯科大学で行う。

日程 2/13(水)、2/15(金)

2/16(土)、2/17(日)を予定

【編集】

会誌「神奈川放射線」の発行予定について

No175号 13年11月26日

No176号 13年1月26日

No177号 14年3月4日

第88回研究会報告

学術 濱田順爾

2001年7月21日(土)15:00より、JR横須賀駅近くのウェルシティ横須賀内横須賀市保健所第1研修室に於いて、以下のプログラムの様に第88回研究会を開催致しました。

賛助会員の演題を2題、会員発表を2題のプログラムで構成しました。

気温 30 度代後半の大変に暑い中、参加者は会員 27 名、総参加者数 57 名と大盛況の開催でした。

まず、プログラムに先立って、本年度より稼動しています保健所内の健診センターの施設見学をさせていただきました。

最新型の FCR 装置で、全面 CR 化した職場はとっても魅力的。最新のマンモグラフィ撮影装置にもびっくり。おまけに操作室のフロア - の広い事！うらやましい限りでした。

ただ、以前研究会でもご紹介いただいた、訪問撮影業務に使用されるポータブル装置を実際に見せていただき、スタッフの方々の日々のご苦労がしのばれました。この夏の暑い季節にはさぞや大変な重労働でしょうね。

しかし、最新の機器を揃えられた施設として、今後とも、この横須賀地域の健康づくりに貢献なされることを期待いたします。

また、今回、保健所のスタッフの方々には、大変お世話になりました。会場提供のお骨折りは言うに及ばず、会場設置、案内表示の印刷、貼り付けなど、本来我々学术部でやるべき雑務をかなり手伝っていただき、感謝にたえません。もちろん庶務の方々とピンチヒッター T 氏にも感謝！この場をお借りしまして、学术部より御礼申し上げます。

プログラム：

1. <横須賀市保健所施設見学>

15 : 00 ~ 15 : 15

2. <賛助会員発表> 15 : 15 ~ 16 : 30

マルチスライス CT の最新技術

GE 横河メディカルシステム (株)

CT 営業部 木村克美

マルチスライス CT の現状と今後の展望について

シーメンス旭メディック (株)

プロダクトプロモーショングループ

北野浩一

3. <教育講演> 16 : 35 ~ 17 : 30

医療法の改正について

横須賀市保健所 阿部 仁

胃・十二指腸潰瘍に影響する「今話題のピロリ菌」(尿素呼気試験について)

横須賀共済病院中央検査科 都丸克浩

今回の演題は 4 題ともそれぞれにリキの入った演題でしたね。d(-_^)good!!

賛助会員の 2 題は最新の情報を提供いただき、とても興味深かったです。さて、当地区に最初に入るマルチスライス CT。いったいどの施設に？そしてどこのメーカー？

保健所の阿部先生の演題は、こちらの都合で短くさせてしまい申し訳ありませんでした。準備いただいた資料も充実。会員の皆様はこの資料をもとに、本年の医療監視もバッチリ！、、、ですか

横須賀共済病院中央検査科の都丸先生の演題は、なかなか興味深かったですね。日頃業務に追われ、胃の痛みを経験されている会員諸氏の注目を集めていました。「都合で途中で帰る」と宣言していた C 先生も、何故か最後まで聞き入っておりましたね！

以上4題でしたが、みなさん質疑応答の時間が欲しかったことでしょう。しかし、なにぶん納涼会開始時刻までの時間の問題がありましたもので、質疑応答は極短くさせていただきました。お許してください。

そして、この横須賀市の花火大会当日でもありましたが、「花火なんか見るより、俺は飲んでいたい！」というノンペ～会員諸氏の為、三部合同納涼会に突入するのです。 (これも、それはそれは楽しかったよ！でも大好きなS女史とともにお酒を飲めなかったのが心残りではありました。)

尚、次回第89回研究会は、開催施設に衣笠病院を予定しております。また、プログラムには余裕がありますので、会員、賛助会員の皆様、是非是非、演題提供を申し出てくださいね。特に若い会員諸氏の積極的な申し出を、学術部一同心待ちにしております。

第2回釣り大会報告
福利厚生 狩野

去る10月21日(日)久比里の山下丸より第二回の釣り大会としてカワハギ釣りを企画しました。

総勢19名の参加者を乗せ、準備が整った8時過ぎに千葉副会長の挨拶の後、岸払いとなりました。

久里浜港にてスパンカーを立て本日の釣り場である竹岡沖へ走る約20分で到着しました。

雲は多いながらも所々で青空がのぞき、風も弱く海はほとんど凪の状態でした。

釣り開始一投目にて私の竿に強震が襲いガクガクと竿を引き込みながら上がってきたのは本命と思いきや何とサバフグでした。

その後カワハギからの魚信はほとんど無く針掛かりするのは外道の代表格であるトラギスがほとんどでした。

何度か潮周りした後、胴の間で、ぽつぽつと釣れてはパタッと食わなくなるパターンが続く非情な程の食い渋り攻撃に、これではいかんと新倉会長からの清酒二升のさし入れを皆で平らげ気を取り直して竿を振るも食いは上向かず、きびしい一日となってしまいました。

また、本日は皆さんに、船上にてカワハギの肝乗せにぎり寿司をぜひ食べてもらいたく、私のゲットしたカワハギや、周辺の皆さんに提供して頂いた貴重なカワハギ君をさばいて1時頃には一人2貫割り当ての38貫の握りが完成し、早々に食してもらいました。

味の方はいかがでしたでしょうか？

さて、今回のトップは3名の同数5枚の為、ジャンケンにて順位をつけさせて頂きました。

- 1位 コニカメディカル 宮沢氏
- 2位 横須賀市保健所 大寺氏
- 3位 横須賀市保健所 井上氏

今回は稀にみる食い渋りに遭遇してしまい幹事としては、非情に残念な結果ではありますが、事故もなく無事に船上にて楽しい一日を過ごせた事に感謝しつつ、参加して下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

平成13年度中間決算報告

一般会計

収入の部

収入項目	平成13年度予算	中間決算額	未収金額
前年度繰越金	249,621	249,621	0
会費	254,000	238,000	16,000
賛助会費	522,000	492,000	30,000
寄付			
利息	100	185	-85
救急センター事業収入(1)	30,000	0	30,000
雑収入		940	-940
合計金額	1,055,721	980,746	74,975

支出の部

支出項目	平成13年度予算	中間決算額	残金
会議費	190,000	55,256	134,744
学術費	120,000	120,000	0
広報費	120,000	120,000	0
福利厚生費	120,000	120,000	0
庶務費	180,000	44,535	135,465
渉外費	50,000	18,598	31,402
YMBIT助成金	60,000	60,000	0
名簿作成費	100,000	0	100,000
補修費	40,000	21,504	18,496
慶弔金	50,000	5,446	44,554
予備費	25,721	0	25,721
雑費			
合計金額	1,055,721	565,339	490,382

積立金会計

収入の部

収入項目	平成13年度予算	中間決算額	未収金額
前年度繰越金	996,512	996,512	0
県技師会助成金	15,000	0	15,000
積立金利息	250	415	-165
救急センター事業費(2)	200,000	0	200,000
合計金額	1,211,762	996,927	214,835

YMBIT offline

横須賀三浦放射線技師会

ホームページ リニューアル OPEN！！

デザイン一新！新コーナーもできてますます便利に！



やったネ！
アクセス数
3000件
突破！

- ・行事がわかる「年間活動予定表」
- ・全国ほとんどの技師会と相互リンクでさらに充実の「リンク集」
- ・横須賀の観光情報はこれでバッチリ「よこすかわくわく情報」(横須賀市観光課公認)
 - ・これはスゴ〜イ「会報バックナンバー」
- ・なんと！時代の先端！「iモード版」もあるのだ！

ホームページアドレス

<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/index.html>

メールアドレス

ymbit@internet.email.ne.jp

iモード版アドレス

<http://www.ne.jp/asahi/ymart/ymbit/i/index.html>

YMBITでは、皆さんに楽しんで利用していただけるホームページをめざしています。

皆さんからのご意見、ご希望、投稿をお待ちしています！

編集後記

横須賀市立市民病院 柳沢 正和

クリティカルパスまたはクリニカルパス等の声を最近耳にする。定義として『入院期間内で標準的な結果を得るために患者に対し最も関わる医師及び看護婦が行うべき:手順と時間のリスト』と言われている。別に『医療チームが共同で作り上げた、患者の最良の管理だと信じるところを示した仮設』と読み替えている。

何だかよくわからないが?外科系の疾患等で横軸に時間の経過、縦軸に必要な処置、治療等をフローチャートまたはガントチャートで示し適切で短期間の治療を標準化するものらしい。当然このチャートを使えば患者さんへの説明も実施ししやすい。

かって日本医療のバックボーンとして君臨した 自由開業医制 診療出来高払い制度 国民皆保険制度等が総医療費の抑制、少子高齢化、定額払い制度の中でゆれている。

この様な背景の中クリティカルパスが動き出すのだが放射線科への影響はないのだろうか?現状の2から3週間待ちの予約検査では期間内に検査ができずしたがって退院できない。予約検査から必要なとき出来る検査が求められてくる。

クリティカルパスはもともと医療現場で考えられたものではなく NASA 等工期短縮のため以前から使われていた。そういえばCT,MRI,RI,単純撮影、UCG等各モダリティをいかに効率よく順序だてて短期に検査、診断するか?もともとあった考えである。疾患別に必要な検査を順序だてて効率的に使い『無駄な検査を省く』ここに意味があるのでは?

誰か疾患別に必要最低限の検査を順序だてて考えてくれる人いないかな?いずれにせよ救急対応等では考えられなくてはいけない課題である。

横須賀三浦放射線技師会報

Vol.25No.2 通算 80 号

2001 年 11 月 発行

編集/発行 広 報

印刷/製本 (株)エルクコーポレーション

広報担当 横須賀市民病院 柳沢 正和

須藤 敏

高橋 宏之

高久 博樹

衣笠病院 神田 真世